

# 市民意識調査の経年比較と今後の展開について

## 【1】 市民意識調査の経年比較

### ① 調査の概要

対象：市内在住の 15 歳以上 75 歳未満の市民（住基台帳から無作為に抽出）

目的：市の施策に対する市民意識を調査し、今後のまちづくりの参考資料とするため、市企画課にて実施。

調査期間：毎年 5 月中旬から 6 月上旬に実施（平成 17 年度～）

対象期間：平成 30 年度、平成 29 年度

回答人数：平成 30 年度：1,547 人

平成 29 年度：1,594 人

### ② 景観に関する市民意識調査の地区別分析について

本市では、成長の過程や風土・環境などから、市域を特色ある 6 つの地域に分け、日常生活が営める最も大きなコミュニティ単位である 3 次生活圏として設定。

また、6 つの地域において、景観に関連すると思われる他の項目についてその調査結果を下記のとおり取りまとめる。※ 調査は居住地の地域（小学校区）について回答するよう依頼。

#### ● 6 つの地域と各小学校区について



6 つの地域名	校区名	主な地域の特徴
都市中核地域	中央	行政の中心地として古くから発展してきた市街地で、岸和田城をはじめとした歴史・文化資源の蓄積もあり、南海岸和田駅を中心に様々な都市機能が集まり発展。
	城内	
	浜	
	朝陽	
	大宮	
岸和田北部地域	東光	古くから農漁村として開ける一方、紀州街道沿いは門前町・街道町として栄えるなど、自立性の高い地域として発展。
	春木	
	大芝	
	城北	
葛城の谷地域	新条	津田川流域に位置し、JR 東岸和田駅を中心とした平地部の都市機能・丘陵部の良好な住宅地と農地・山間部の森林などがバランスよく配置されている。
	旭	
	太田	
	天神山	
岸和田中部地域	修斉	春木川の中・上流地域に位置し、主として住宅地や農用地として利用されていて、全体として田園風景が多く残されており、良好な住環境を形成している。
	東葛城	
久米田地域	光明	牛滝川と春木川に挟まれ、久米田池・久米田寺中心に発展した地域で、豊富な歴史資源と自然環境が調和した良好な市街地が形成。
	八木	
	八木北	
牛滝の谷地域	八木南	ほぼ牛滝川に沿った形で市街地、農村、田園、森林がゆるやかに連続している地域で、豊富な遺跡・歴史資源にも恵まれた良好な市街地を形成。
	城東	
	山直北	
	山直南	
	山滝	

## 6地域における景観関連項目の調査結果（単位％）

（H30 市民意識調査）6 地域における市民意識一覧（そう思う・まあそう思う）

調査項目	市全体	都市中核	岸和田北部	葛城の谷	岸和田中部	久米田	牛滝の谷
1 景観がよく保全されているか（12-ト）	23	25	20	26	22	22	23
2 農業や漁業に魅力がある（11-カ）	40	41	41	41	43	36	45
3 多くの観光客でにぎわい観光の振興が十分である（11-ク）	15	18	15	16	13	16	13
4 歴史や伝統がしっかりと引き継がれている（11-シ）	62	64	64	55	58	64	62
5 丘陵部、港湾部など地域の特性を活かしたまちづくりが進んでいる（11-ス）	26	25	24	24	38	25	26
6 みどりが豊かである（11-セ）	52	45	43	56	59	59	60
7 海や川の水がきれい（11-ソ）	18	13	12	24	20	20	18
8 多様な動植物が生息している（11-タ）	29	22	24	33	34	31	34
9 子どもが地域で安全に遊べる（12-エ）	34	32	34	34	40	33	34
10 秩序があり、美しい街並みが形成されている（12-シ）	26	26	21	30	26	27	25
11 安心して歩道を通行することができる（12-ス）	26	29	23	27	26	23	25
12 地域の治安がだんだん悪化している（12-セ）	37	33	37	35	39	36	42
13 消防機能が充実している（12-タ）	40	40	38	43	47	35	35
14 鉄道駅周辺の市街地に活気がある（12-テ）	19	16	25	29	15	17	13
15 市内をスムーズに移動できる（12-ナ）	37	41	41	35	34	40	27
16 心安らく公園や親水空間などが身近にある（12-ニ）	40	40	36	28	54	47	39
17 ユニバーサルデザイン化が進んでいる（12-ハ）	14	14	15	17	15	14	12
18 多くの市民や事業者が公共的な活動を行っている（12-ホ）	25	23	22	27	31	24	25

（H29 市民意識調査）6 地域における市民意識一覧（そう思う・まあそう思う）

調査項目	市全体	都市中核	岸和田北部	葛城の谷	岸和田中部	久米田	牛滝の谷
1 景観がよく保全されているか（12-ト）	24	27	18	26	25	20	25
2 農業や漁業に魅力がある（11-オ）	39	36	35	41	43	39	37
3 多くの観光客でにぎわい観光の振興が十分である（11-キ）	16	17	16	18	16	17	10
4 歴史や伝統がしっかりと引き継がれている（11-コ）	68	71	71	65	69	66	59
5 丘陵部、港湾部など地域の特性を活かしたまちづくりが進んでいる	—	—	—	—	—	—	—
6 みどりが豊かである（11-サ）	56	51	44	62	66	61	59
7 海や川の水がきれい（11-シ）	19	17	14	24	18	23	15
8 多様な動植物が生息している（11-ス）	30	25	23	38	32	32	34
9 子どもが地域で安全に遊べる（12-エ）	32	37	29	27	31	32	32
10 秩序があり、美しい街並みが形成されている（12-シ）	19	21	14	21	23	16	17
11 安心して歩道を通行することができる（12-ス）	24	31	25	22	21	20	21
12 地域の治安がだんだん悪化している（12-セ）	36	31	36	41	34	34	40
13 消防機能が充実している（12-タ）	39	41	38	45	47	32	30
14 鉄道駅周辺の市街地に活気がある（12-テ）	17	17	16	25	16	13	11
15 市内をスムーズに移動できる（12-ナ）	35	45	41	27	34	31	27
16 心安らく公園や親水空間などが身近にある（12-ニ）	42	46	44	29	49	50	36
17 ユニバーサルデザイン化が進んでいる（12-ハ）	13	14	12	13	12	12	9
18 多くの市民や事業者が公共的な活動を行っている（12-ホ）	23	26	24	18	21	25	22

### ③ 景観啓発（都市景観賞・こころに残る景観資源発掘PJ）指定状況について

	都市景観賞	こころ（樹木）	こころ（みち）	こころ（水辺）	こころ（まち）	合計
都市中核地域	11	6	7	4	3	31
岸和田北部	2	1	0	0	1	4
葛城の谷	1	4	3	1	2	11
岸和田中部	4	2	3	3	0	12
久米田	4	0	2	2	1	9
牛滝の谷	1	2	6	5	2	16
合計	23	15	21	15	9	83

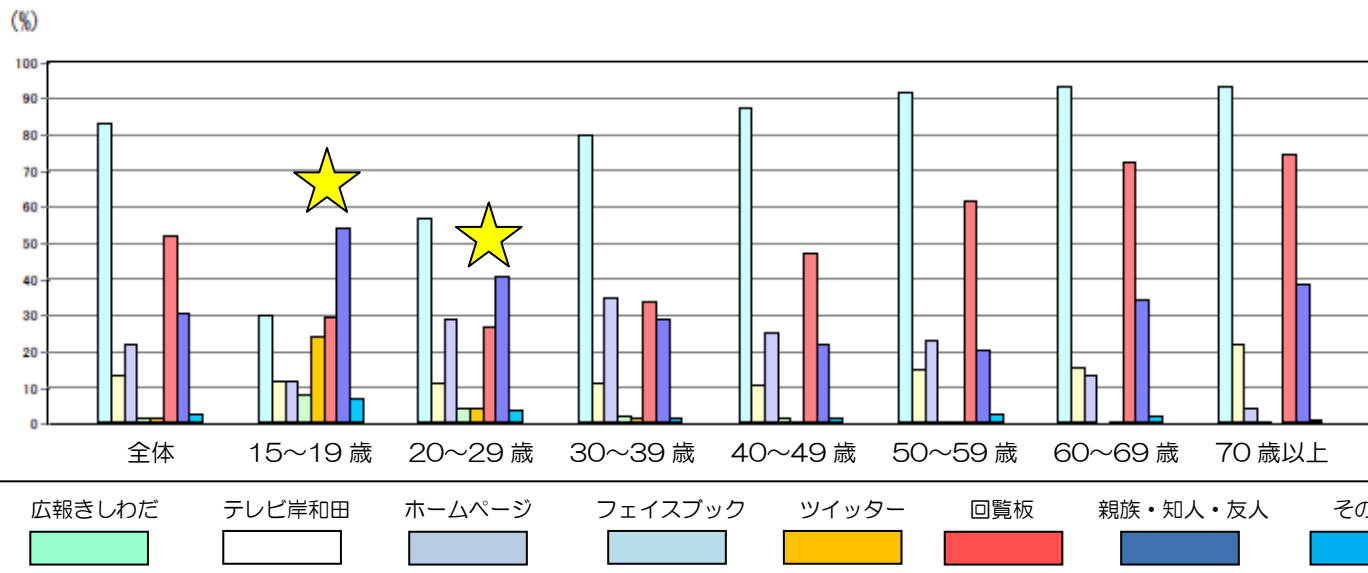
## 【2】 今後の展開

### ① 岸和田市の情報の入手手段について

「情報化に関する市民アンケート調査」

情報化に関する市民の動向や意識などを調査するため、市情報政策課が平成25年8月に実施。

- ・「広報きしわだ」と回覧板が、岸和田市の情報の入手手段として多く利用されている。
- ・年齢層が上がるほどその割合は顕著となり、逆にホームページでの情報入手は少なくなっている。
- ・若年層については、SNSでの情報収集について多世代より高く、また、親族・友人・知人からの口コミによる割合も高い。



### ② SNS等を活用した景観に関する啓発・周知実績について（平成30年4月～平成31年1月）

- 市フェイスブック掲載実績（ツイッター同内容）

更新数：8件 いいね数：624件 コメント数：18件 シェア数：24件

- インスタグラム掲載実績

更新数：7件 いいね数：1,633件 コメント数：13件

- ちきちきWalk 平成30年度

更新数：12件 ページビュー数：1,428件